

福岡県損害保険防犯対策協議会筑豊部会総会を開催

～筑豊地域の各警察署と不当不正請求根絶に向けた連携を確認～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部（委員長：大久 孝一・損害保険ジャパン株式会社 専務執行役員）では、1月26日（木）15時00分から飯塚市の「のがみプレジデントホテル」において、福岡県損害保険防犯対策協議会筑豊部会第42回定期総会を開催し、来賓・顧問・会員など35名（その他、福岡県損害保険代理業協会筑豊支部会員等約20名）の出席がありました。

開会にあたり、福岡県損害保険防犯対策協議会筑豊部会 佐々木部会長（損害保険ジャパン社北九州支店長）より、関係各位の支援・協力への感謝の意を表明するとともに、「関係機関と連携し、不当不正請求・民事介入暴力の排除と保険犯罪の防止に向けて、一層の努力をして参りたい。」との挨拶がありました。

次に、来賓の福岡県飯塚警察署 林署長より、「反社会勢力の排除は一朝一夕に出来ない、皆様からの情報共有・情報交換が必要不可欠である。引き続き県警察と情報連携願いたい。」と挨拶がありました。

続いて、福岡県弁護士会民事介入暴力対策委員会 本岡委員長から「暴力団事務所の明け渡し、不当要求行為への対応や、暴力団組長の責任追及のための民事裁判など広く取り組んでいる。今後関係機関とスクラムを組んであらゆる暴力、不当不正な請求の排除を目指し、より一層の努力を続けていく。」と挨拶をいただきました。

また、福岡県損害保険代理業協会筑豊支部 大坪支部長からも「福岡県警に新設された『準暴力団等集中取締本部』の活躍に期待するとともに、知りえた情報は警察関係者や保険会社等へすばやく共有し、反社会的勢力に該当する人物・団体とは一切の関係を持たない」との決意表明がありました。

本部会の辻中代表幹事からは、「筑豊地区においては、あらゆる法令を駆使し太州会組員等を多数検挙、また無免許運転等を繰返すグループや替え玉運転で保険金を搾取したグループを検挙頂くなど保険金詐欺事件が報道されるたびに、同種の犯罪への抑止効果が上がっている。関係機関の並々ならぬご尽力に対し、改めて感謝したい。今後とも警察等関係機関との連携強化を図り、損害保険業界一丸となって悪に屈せず適切な保険金支払いを行っていく」旨の決意表明および、2022年度の活動報告がありました。

講演では、福岡県警察本部暴力団対策部組織犯罪対策課 宮原暴力団排除対策官から、「反社会的勢力の現状と対策について」の講話があり、当部会の小林代表幹事から決議文が読み上げられ、採択されました。

損保協会九州支部では、福岡県警察本部や関係機関と連携し、民事介入暴力対策および不当不正請求対策を進め、健全な損害保険事業の運営を通じた地域の安全・安心に貢献してまいります。

なお、総会の式次第は次の通りです。

福岡県損害保険防犯対策協議会 筑豊部会第42回総会 式次第

1. 主催者挨拶

防犯対策協議会筑豊部会 佐々木 部会長（あいおいニッセイ同和損保社）

2. 来賓紹介

3. 来賓ご祝辞

福岡県飯塚警察署 署長 林 礼二 様

福岡県弁護士会 民事介入暴力対策委員会 委員長 本岡 大祐 様

福岡県損害保険代理業協会筑豊支部 支部長 大坪 一幸 様

4. 活動報告

防犯対策協議会筑豊部会 辻中 代表幹事（あいおいニッセイ同和損保社）

5. 講演 「反社会的勢力の現状と対策について」

福岡県警察本部暴力団対策部組織犯罪対策課 暴力団排除対策官 宮原 脩 様

6. 決意表明

防犯対策協議会筑豊部会 小林 康一郎代表幹事（三井住友海上社）

7. 閉会の辞

防犯対策協議会筑豊部会 福島 謙一代表幹事（損害保険ジャパン社）



黒川 幹事による司会



佐々木 部会長による開会の辞



林 署長の挨拶



本岡 委員長の挨拶



大坪 部長の挨拶



辻中 幹事による経過報告等



宮原暴力団排除対策官
による講演



小林幹事から副島刑事管理官へ
決意表明



福島幹事による閉会の辞